

## 反射濃度計バッテリー交換手順

バッテリー交換時に本体の主電源スイッチを ON にしたままにする、または、バッテリーに落下等で衝撃を与えると、ヒューズが断線することがありますので注意して下さい。

1. 本体から AC アダプタを外し、装置後部面の主電源スイッチを OFF にして装置の電源を切ります
2. ビスを緩め、バッテリーカバーを外す。(シュー・スライドロックが外れないように注意すること)



3. バッテリーを取り出し、ハーネスを抜く。



### \* 注意 \*

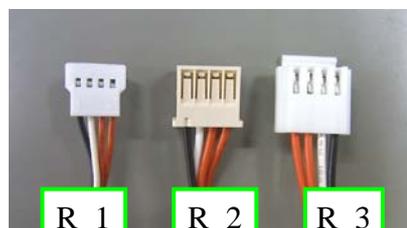
交換前にバッテリーを確認して下さい。バッテリーには R\_3、R\_2、R\_1 の 3 種類があります。交換用のバッテリーと機器に取り付けられているバッテリーが同じ種類のものかをご確認下さい。もし、種類が異なっている場合は、無理に取り付けようとせず、バッテリーを購入された販売店にて交換を依頼して下さい。

### バッテリーの見分け方

- ① バッテリーに種類を記載したラベルが貼り付けられている場合は、そのラベルをご確認下さい。



- ② バッテリーにラベルが貼り付けられていない場合、バッテリーのコネクタの形状にてご確認下さい。



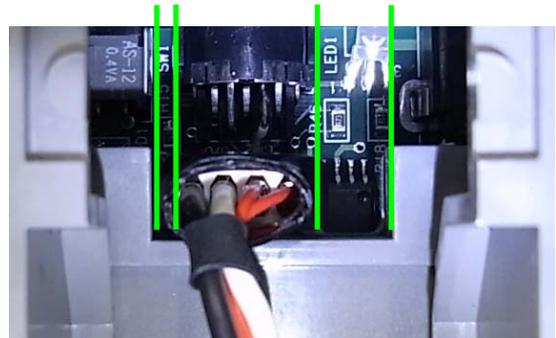
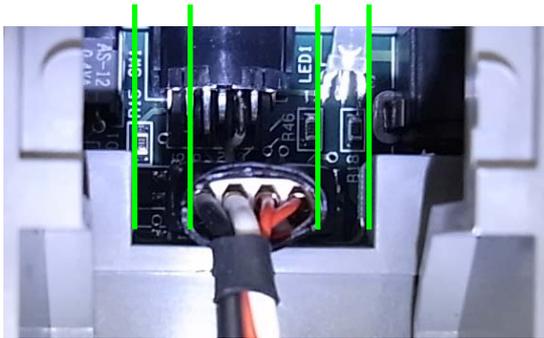
4. 新しいバッテリーのハーネスを接続し、シューに納める。  
 (Ni-Cd バッテリーの電極が上向きにして取り付ける)

バッテリーのハーネスは正しい位置に接続して下さい。  
 一度にハーネスを押し込まずに、少し差し込んだ状態で  
 ハーネスが正しい位置にあることを確認してからゆっくりと  
 押し込んで下さい。



ハーネスが中央にあるのが正しい状態です。

ハーネスが片側によっている場合は  
 正しく接続されていませんので、バッテリーを  
 抜き取り、接続し直して下さい。



**\* 注意 \***

間違った接続を行なうと機器が破損する恐れがあります。

下の左図のように機器上ケース(白色部)とスイッチ・コネクタ類との間にすき間があれば、機器内部の部材が正しく接続している状態です。

下の右図は機器内部の部材が正しく接続していない状態です。機器上ケースとスイッチ・コネクタ類との間のすき間が狭くなり、逆に機器下ケース(灰色部)とスイッチ・コネクタ類との間にすき間があります。

正しい接続時



部品が外れている時



上右図のような場合は、機器を購入された販売店へご連絡下さい。

5. バッテリーカバーをかぶせ、ビスで固定する。

